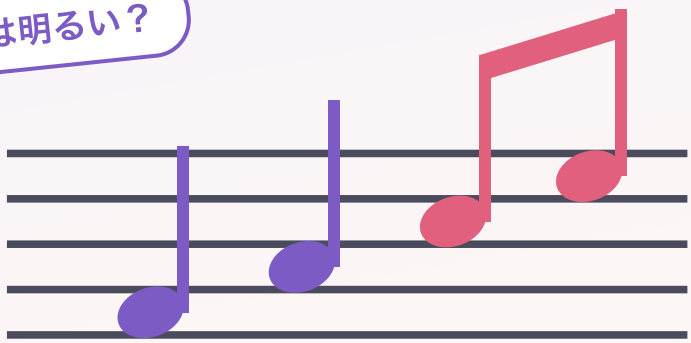
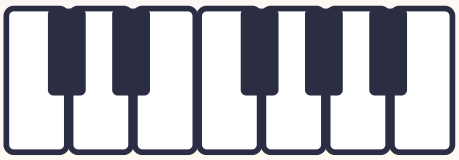
Season 2 | No.17

長調は明るい？

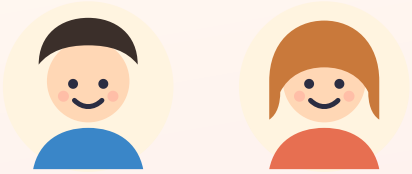




短調はしんみり？

長調と短調

同じメロディも、調がちがうと表情が変わる



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

長調と短調のきほん 3〜5
主音と調 6〜12
調を読み解く 13〜14
調を楽しむ 15〜19
練習しよう 20〜24
ふり返り 25〜30

Lesson 1

長調と短調のちがい

音階の並び方によって、曲の感じが変わります。

曲には、**長調（ちょうちょう）**と**短調（たんちょう）**という2つの大きな仲間があります。どちらも音階の並び方のちがいから生まれます。
同じメロディの形でも、長調で作るか短調で作るかで、聞こえてくる印象がガラッと変わります。



ポイント

- 長調と短調は、音と音の間かく（全音・半音）の並び方がちがいます。
- 「明るい・暗い」という感じ方は、多くの人に共通しやすい傾向ですが、絶対の決まりではありません。

やってみよう

1. 「明るい」と聞いて思いうかぶ曲、「しんみり」と聞いて思いうかぶ曲を、それぞれ1つ書こう。

書いて覚えよう

Lesson 2

明るい感じ・暗い感じ

長調と短調は、感じ方にちがいが出やすいです。

	感じられやすい印象
長調	明るい、元気な、はればれとした
短調	しんみりした、切ない、もの思いにふける

ポイント

- これはあくまで「多くの人が感じやすい傾向」であり、すべての曲に当てはまるわけではありません。
- 感じ方は人によってもちがいます。自分がどう感じるかを大切にしましょう。

やってみよう

1. 「ドミソ」の和音と「ラドミ」の和音、鳴らせるなら聴きくらべて感じのちがいを書こう。

書いて覚えよう

Lesson
3-4

長調の曲を聴く・短調の曲を聴く

実際の曲を聴いて、感じのちがいをつかもう。



Ken
この曲、なんだか元気な感じがするね。

Emma
うん、長調っぽい感じがするよ。こっちの曲はしんみりしているね。



ポイント

- 同じ楽器・同じ速さの曲でも、長調と短調では受ける印象がちがいます。
- はじめは「なんとなく明るい・暗い」で感じ取れれば十分です。

やってみよう

1. 好きな曲を2曲えらび、それぞれ長調っぽいか短調っぽいか書こう。

書いて覚えよう

Lesson 5

主音ってなに？

調には、中心になる音があります。

主音（しゅおん）

tonic

その調の中心となる音。曲がいちばん落ち着いて聞こえる音

ポイント

- 主音は、その調の音階の最初の音でもあります。
- 曲の終わりが主音で終わると、聴いている人は「終わった」と落ち着いて感じやすくなります。

やってみよう

1. ハ長調の主音は何の音ですか。＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 6

長調の主音と終わり方

長調の曲は、主音で終わると落ち着いて聞こえます。

ポイント

- ハ長調の主音は「ド」です。曲の最後がドで終わると、しっかり終わった感じがします。
- 主音以外の音で終わると、まだ続きがありそうな、宙に浮いたような感じになります。

やってみよう

1. 「ドレミファソラシ」まで歌って止まってみよう。落ち着かない感じがしますか。＿＿＿＿
2. 続けて「ド」まで歌ってみよう。感じがどう変わりましたか。

書いて覚えよう

Lesson 7

短調の主音と終わり方

短調にも、それぞれの主音があります。

ポイント

- イ短調の主音は「ラ」です。曲の最後がラで終わると、短調らしい落ち着き方になります。
- 短調の曲でも、主音で終わることで、しっかりとまとまった印象になります。

やってみよう

1. イ短調の主音は何の音ですか。＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 8

平行調

同じ調号を使う、長調と短調の組み合わせがあります。

平行調（へいこうちょう）

relative key

同じ調号（♯・♭の数）を持つ、長調と短調のペア

ポイント

- ハ長調とイ短調は、どちらも♯・♭を使わない、平行調どうしです。
- 平行調どうしは使う音は同じですが、主音（中心の音）がちがいます。

やってみよう

1. ハ長調の平行調は何調ですか。＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 9

同主調

同じ音から始まる、長調と短調の組み合わせもあります。

同主調（どうしゅちょう）

parallel key

同じ音を主音とする、長調と短調のペア

ポイント

- ハ長調とハ短調は、どちらも「ド」を主音とする、同主調どうしです。
- 同主調どうしは主音は同じですが、使われる音（調号）がちがいます。

やってみよう

1. 平行調と同主調のちがいを、ひとことで書こう。

書いて覚えよう

Lesson 10

調の見分け方

楽譜の調号を見ると、調のヒントが分かります。

ポイント

- 楽譜のはじめにある調号（♯・♭の数）を見ると、候補になる調が分かります。
- 同じ調号でも長調・短調の2つの可能性があるので、曲の最後の音や和音も手がかりにします。

やってみよう

1. ♯も♭も使われていない曲は、ハ長調かイ短調のどちらかです。曲の最後の音がドなら何調でしょう。

　＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 11

楽譜から調を知る

実際の楽譜で、調を確かめてみよう。

ポイント

- 手元に楽譜があれば、調号と最後の音（または最後の和音）をチェックしてみましょう。
- 調が分かると、その曲の主音や、明るい・しんみりした感じの理由が見えてきます。

やってみよう

1. 知っている楽譜が1つあれば、調号と最後の音を確認してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 12

同じメロディを長調と短調で

同じメロディでも、調を変えると印象が変わります。



Emma
「きらきら星」を短調っぽく歌ってみたら、どんな感じになるかな。



Ken
同じメロディなのに、なんだか切ない感じになったよ。

ポイント

- メロディのリズムや形が同じでも、使う音階を変えると印象が変わります。
- 作曲する人は、この効果を使って、曲の雰囲気を作り出しています。

やってみよう

1. 知っている明るい曲を、わざとしんみりした声で歌ってみよう。感じはどう変わりましたか。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
13-14

短調でも元気な曲・長調でも切ない曲

調と感じ方は、いつも一致するとは限りません。

ポイント

- 短調で書かれていても、速いテンポや力強いリズムで、元気に聞こえる曲もあります。
- 長調で書かれていても、ゆっくりした速さや静かな強弱で、切なく聞こえる曲もあります。
- 調だけでなく、速さ・強弱・リズムなど、いろいろな要素が組み合わさって曲の印象が決まります。

やってみよう

1. 「調だけでは決まらない」ということを、自分の言葉で説明してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 15

調が変わる曲（転調）

曲の途中で、調が変わることがあります。

転調（てんちょう）

modulation

曲の途中で、別の調に変わること

ポイント

- 転調すると、それまでとちがう新鮮な印象が生まれます。
- サビの前後で転調する曲もあり、盛り上がりを演出する効果があります。

やってみよう

1. 知っている曲で、途中で雰囲気が変わると感じたことはありますか。

書いて覚えよう

Lesson 16

調を聴き分ける練習

長調っぽいか短調っぽいかを、聴いて判断してみよう。

ポイント

- まずは「明るいか、しんみりしているか」というざっくりした印象で判断してみましょう。
- 慣れてきたら、曲の最後の音や和音にも注目してみましょう。

やってみよう

1. 好きな曲を3曲えらび、長調っぽい・短調っぽいを判断して書こう。

書いて覚えよう

Lesson 17

調と気持ちの関係

調は、自分の気持ちを表す道具にもなります。

ポイント

- うれしいとき、悲しいとき、それぞれ聴きたくなる調のイメージは人によってちがいます。
- 自分で歌やメロディを作るときも、伝えたい気持ちに合わせて調を選ぶことができます。

やってみよう

1. 今のあなたの気持ちには、長調と短調のどちらが近いですか。＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 18

調クイズ

長調・短調の知識を確認しよう。

調クイズ

1. ハ長調の主音は？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. イ短調の主音は？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 同じ調号を持つ長調と短調のペアを何とよびますか。 ＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 19

調を決めてメロディをつくる

調を決めて、短いメロディを作ってみよう。

やってみよう

1. 長調・短調のどちらかを決めて、4音の短いメロディを作ってみよう。

2. 作ったメロディを声に出して歌い、決めた調らしい感じになったか確かめよう。

ポイント

- 主音で終わらせると、まとまりのあるメロディになりやすいです。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 20

聴いてくらべよう

2つの曲の調の感じをくらべよう。

くらべるところ	曲A	曲B
長調っぽい・短調っぽい		
感じ		

やってみよう

1. 好きな曲を2曲えらんで、表を完成させよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
21-22

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

長調・短調を、声で表現してみよう。

A （長調っぽく歌う）ドミソ～

B （まねして）ドミソ～

A （短調っぽく歌う）ラドミ～

B （まねして）＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント

- Aが出した感じを、Bが声でまねる遊びです。
- 正確な音でなくても、雰囲気をつかむことが目的です。

書いて覚えよう

Lesson 23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達へのステップです。

つまずき

よくあること

長調・短調の判断に迷う
明るいのか暗いのか自信が持てない

平行調と同主調を混同する
同じ音・同じ調号がごちゃまぜになる

コツ

こうしてみよう

最後の音に注目する
終わりの音・和音を確認する

表にして書き出す
調号と主音を並べて整理する

ポイント

- 迷ったときは、いちど紙に書き出すと整理しやすくなります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

調の基本

- ☐ **長調**
  明るく聞こえやすい調
- ☐ **短調**
  しんみり聞こえやすい調
- ☐ **主音**
  調の中心になる音

調のペア

- ☐ **平行調**
  同じ調号を持つペア
- ☐ **同主調**
  同じ主音を持つペア
- ☐ **調号**
  ♯・♭のまとまり

調の変化

- ☐ **転調**
  曲の途中で調が変わること
- ☐ **調を見分ける**
  調号と最後の音で判断
- ☐ **感じ方**
  人によってちがう

表現

- ☐ **雰囲気**
  曲から受ける印象
- ☐ **速さ・強弱**
  調以外に印象を決める要素
- ☐ **表現**
  気持ちを音で伝えること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。調を知ると、曲の聴き方がより深くなります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

主音	● ア. 同じ調号を持つペア
平行調	● イ. 調の中心になる音
同主調	● ウ. 曲の途中で調が変わる
転調	● エ. ♯・♭のまとまり
調号	● オ. 同じ主音を持つペア

2. 主音を書こう

1. ハ長調の主音 → ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. イ短調の主音 → ＿＿＿＿＿＿＿＿

3. 正しい言葉を選ぼう

1. 同じ調号を持つ長調と短調 → （ 平行調 ／ 同主調 ）
2. 同じ主音を持つ長調と短調 → （ 平行調 ／ 同主調 ）

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	長調と短調のちがいを言える	調の基本
☐	主音の意味を言える	調の中心
☐	平行調と同主調のちがいを言える	調のペア
☐	曲を聴いて長調・短調を判断できる	聴き分ける力
☐	調を決めてメロディを作れる	作る力

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。

書いて覚えよう

Lesson 28

家でできる練習

毎日少しずつ、調にふれよう。

朝
好きな曲が長調か短調か考える

移動中
「ドミソ」「ラドミ」を声で出す

おふろ
知っている曲を短調っぽく歌ってみる

夕方
楽譜の調号をさがす

夜
調ノートに1行書く

週末
家族と調クイズを出し合う

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることが力になります。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

調を意識した歌や演奏を、人に聴いてもらおう。

発表した曲	
調（長調・短調）	
感じたこと	
聴いてほしい人	

Ken の例

発表した曲 自分で作った4音のメロディ／調 短調／感じたこと 短くてもしんみりした感じが出せた

感想を3文で書こう

① 調を意識すると、〜な発見がありました。② とくに、〜のところが面白かったです。③ それは、〜だからです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

調の世界は、ここからさらに広がります。

もっと知りたい人へ

楽譜を見る
好きな曲の調号と主音をさがす

演奏会へ
転調のある曲を聴いてみる

録音して
長調・短調で歌い比べる

次のステップ

和音
音階の音を重ねる仕組みを学ぶ

反復記号
楽譜の道順を学ぶ

表現
調と強弱・速さを組み合わせる

ポイント

- この教材の次は「和音のしくみ」。音の重なりについてさらにくわしく学んでいきます。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 長調と短調のちがいを書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん印象に残った言葉は？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから意識してみたいことは？＿＿＿＿＿＿＿＿

調ミッションカード

MISSION 1
好きな曲が長調か短調か調べる

MISSION 2
同じメロディを長調・短調で歌う

MISSION 3
平行調のペアを1組言えるようにする

MISSION 4
調を決めて短いメロディを作る

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson 34

長調と短調チャレンジ

教室の外でも、調の学びはすぐに楽しめます。

聴こう

好きな曲が長調か短調か考えながら聴く

歌おう

同じメロディを長調・短調の両方で歌う

さがそう

転調のある曲を1つさがしてみる

こたえ

L18 1. ド 2. ラ 3. 平行調

L26 主音→イ 平行調→ア 同主調→オ 転調→ウ 調号→エ　2. ド／ラ　3. 平行調 ／ 同主調

L33 （例）長調は明るく、短調はしんみり聞こえやすい。

書いて覚えよう

長調と短調（Season 2 ｜ No.17）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。